

<事業名> 銭太鼓の研究と実践

団体名	銭太鼓研究会
所在地	豊岡市今森
代表者名	会長 小西 康子

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡シルバーステイの音楽会で演技発表 ・出石永楽館にて銭太鼓交流会に参加。発表衣装や小道具を自分たちで作成。 ・但馬文教府みてやまフォーラムにて演技発表。 <p>学園生や地域の方々に成果を披露した。</p>	
地域	豊岡市	
事業の効果	<p>①団体（組織）内の効果 個人の趣味でやっていたが、仲間を募り、研究会として組織にしたことで、目標や役割がはっきりして、仲間の連携や信頼が強くなりました。</p> <p>②地域への効果 自分達だけで楽しむだけでなく、地域の施設に出向いたり、発表会に参加することにより、地域の活性化に役立つことができた。老人会などから演技発表の出演要請もくるようになった。</p>	
事業経過	年 月 日	
	30年5月7日	講義・講習、計画
	30年5月21日	講義・講習
	30年6月4日	講義・講習
	30年6月17日	訪問演奏（交流会）
	30年6月18日	講義・講習
	30年7月9日	講義・講習
	30年7月23日	講義・講習
	30年9月3日	講義・講習
	30年9月10日	講義・講習
	30年10月1日	講義・講習
	30年10月15日	講義・講習
	30年11月5日	講義・講習
	30年11月22日	講義・講習
	30年12月3日	講義・講習
	30年12月7日	成果発表
	30年12月17日	講義・講習
	30年12月22日	講義・講習
	31年1月14日	訪問演奏 →先方の都合により中止
	31年1月21日	講義・講習
	31年2月4日	今後の活動に向けて

協働の相手方	特になし
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>①団体（組織）の課題 レベルアップのための練習時間確保。練習スケジュールを全員で決めて参加しやすくする。新しいメンバーの獲得に努める。</p> <p>②地域の課題 今年が活動の初年度なので、認知度がまだまだ低い。知人や地域に宣伝していきたい。</p> <p>〈31年度以降の事業計画〉 豊岡市及びその周辺地域の老人会や施設にアピールし、演技発表の機会を増やしていこうと思います。</p>



30年6月4日 衣装製作



30年6月17日 出石永楽館 出演



30年11月5日 練習風景



30年12月7日みてやまフォーラムにて発表

豊岡 高齢者大「みてやま学園」大学院生ら
七福神やそば物語などテーマ

但馬の研究 成果発表

演奏を披露する銭太鼓のグループ＝但馬文教育

高年齢者大「みてやま学園」大学院生ら七福神やそば物語などテーマ

豊岡 但馬文教育「ラム」が7日、豊岡市妙みてやま学園の大学院で、楽寺の但馬文教育であった。60、80代の大学院生18人が、但馬各地で調べた研究成果を発表。学生や卒業生ら約200人が熱心に聴き入った。

フォーラムは、院生の発表の場として毎年実施。今年には2年生18人が、「豊岡のフラリ町歩き」「趣味しい」「但馬のそば」の物語、「但馬七福神めぐり」3班に分かれて研究に取り組んできた。

この日は各班が、町でとれただけ武岩が使われているかを調べたアンケート結果を披露したり、そばの調理実習の様子、七福神を実際に訪ねた様子を紹介したりした。有志の銭太鼓グループも、老人ホームなどでの活動を紹介。演技を上演した。

代表であいさつした豊岡市の谷岡まさ子さん(66)は「資料を集め、現場を回る中で、但馬の良さを深さを知り、充実した研究ができた。これからは一生勉強、一生青春を費やしたい」と締めくくった。(阿部利)